



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシー株式会社

コード番号 6298 URL <http://www.yac.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺本 和政 TEL 042-546-1161

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	17,264	55.5	584	26.6	338	△26.9	263	11.3
28年3月期第2四半期	11,102	68.9	461	—	462	—	236	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 70百万円 (△71.5%) 28年3月期第2四半期 248百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	29.49	29.29
28年3月期第2四半期	26.52	26.37

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	34,746	13,473	38.0
28年3月期	34,760	13,498	38.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 13,209百万円 28年3月期 13,240百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	17.4	1,500	85.7	1,350	147.0	890	3,075.1	99.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、[添付資料] 3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	9,674,587株	28年3月期	9,674,587株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	745,801株	28年3月期	745,801株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	8,928,786株	28年3月期2Q	8,924,069株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中でありま

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、急速な為替変動や新興国の景気減速の影響などから下振れ懸念が続くものの、英国のEU離脱問題による影響が限定的となっていること、また、米国では堅調な雇用や個人消費を背景に利上げ時期を探る展開となっていることなどから、総じて緩やかな回復基調で推移しました。

日本経済においては、円高の進行による企業収益への影響が見られるものの、政府・日銀による経済政策を背景に、横ばい状態から一部に改善の兆しが見られる展開となりました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、刻々と変化する顧客ニーズを捉えた装置の開発と市場化に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高172億64百万円（前年同四半期比55.5%増）、営業利益5億84百万円（同26.6%増）、経常利益3億38百万円（同26.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億63百万円（同11.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (ディスプレイ関連事業)

スマートフォンやタブレット端末向けの装置が好調に推移し、売上高は大幅に伸びました。利益面ではアニール装置の利益が限定的となりましたが、総じて順調に推移しました。

これらの結果、ディスプレイ関連事業の売上高は104億7百万円（同44.8%増）となり、セグメント利益は5億32百万円（同19.8%増）となりました。

#### (メカトロニクス関連事業)

前連結会計年度下期より連結対象となったワイエイシイガーター株式会社が当連結会計年度においては期初から業績に寄与しているほか、太陽電池関連装置及び新型バーニッシュ装置の大口需要を取り込み、業績は好調に推移しました。

これらの結果、メカトロニクス関連事業の売上高は61億20百万円（同89.2%増）となり、セグメント利益は3億59百万円（同39.1%増）となりました。

#### (クリーニング関連その他事業)

クリーニング関連装置分野においては、顧客需要を確実に取り込み、業績は堅調に推移しました。

これらの結果、クリーニング関連その他事業の売上高は7億36百万円（同8.4%増）、セグメント利益は1億9百万円（同259.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は267億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円増加しました。主な増加要因は受取手形及び売掛金22億62百万円、現金及び預金14億53百万円、商品及び製品1億65百万円であり、主な減少要因は仕掛品32億47百万円であります。固定資産は79億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少しました。その結果、総資産は347億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円の減少となりました。

#### (負債)

流動負債は143億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円増加しました。主な増加要因は短期借入金1億43百万円であり、主な減少要因は未払法人税等3億37百万円であります。固定負債は68億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少しました。その結果、負債は212億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円の増加となりました。

#### (純資産)

純資産は134億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円減少しました。主な増加要因は利益剰余金1億73百万円であり、主な減少要因は為替換算調整勘定2億12百万円であります。その結果、自己資本比率は38.0%（前連結会計年度末は38.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想（通期）につきましては、平成28年5月16日に公表いたしました通期連結業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度におきまして、主に当社の売上増大に伴って期末売掛金残高が増加したため、重要なマイナスの営業キャッシュ・フローが生じ、この結果3期連続で営業キャッシュ・フローがマイナスとなりました。また、当社は前事業年度におきまして、重要な営業損失、経常損失及び当期純損失を計上し、2期連続で営業損失となりました。このような状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

しかしながら、前期末売掛金につきましては概ね1年程度での回収が見込まれており、また、平成28年4月に立ち上げた高収益体質プロジェクトにおいて、営業利益を確保した上で更なる収益力の強化を図る活動に取り組んでおります。当社グループは当第2四半期累計期間において、営業キャッシュ・フローは26億65百万円のプラスとなっており5億84百万円の営業黒字を確保しております。今後も、継続して売掛金回収強化を図るとともに、更なる収益力の強化を図る活動に取り組んでまいります。

これに加え、メイン銀行を中心とした取引金融機関よりの金融支援体制も十分であります。なお、当社は平成28年9月1日付でそな銀行に15億円のコミットメントラインを設定しました。また、当社グループは平成29年4月には持株会社制への移行も予定しており、グループ各社の資金を効率的に活用することも検討しております。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

#### 4. 四半期連結財務諸表

##### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,397,972	6,851,348
受取手形及び売掛金	12,342,531	14,605,256
有価証券	84,431	39,225
商品及び製品	278,827	444,293
仕掛品	6,621,669	3,374,205
原材料及び貯蔵品	921,680	953,485
繰延税金資産	314,518	430,910
その他	935,652	226,173
貸倒引当金	△115,906	△136,834
流動資産合計	26,781,377	26,788,065
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	3,298,197	3,586,102
減価償却累計額	△2,501,499	△2,712,963
建物及び構築物（純額）	796,697	873,138
機械装置及び運搬具	2,054,866	1,825,393
減価償却累計額	△1,560,015	△1,412,268
機械装置及び運搬具（純額）	494,850	413,125
工具、器具及び備品	3,144,482	3,157,496
減価償却累計額	△2,671,446	△2,748,827
工具、器具及び備品（純額）	473,035	408,669
土地	3,034,422	3,080,922
リース資産	131,643	92,607
減価償却累計額	△82,081	△40,903
リース資産（純額）	49,562	51,703
建設仮勘定	494,452	500,385
有形固定資産合計	5,343,021	5,327,944
<b>無形固定資産</b>		
のれん	831,166	759,316
ソフトウェア	62,397	63,554
リース資産	19,590	15,635
電話加入権	19,603	20,716
特許実施権	108,000	90,000
その他	9,147	5,421
無形固定資産合計	1,049,905	954,644
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,111,116	1,159,067
長期貸付金	153,446	152,426
繰延税金資産	221,900	210,563
長期滞留債権等	78,873	164,361
その他	283,164	339,683
貸倒引当金	△262,205	△349,836
投資その他の資産合計	1,586,295	1,676,266
固定資産合計	7,979,223	7,958,855
資産合計	34,760,600	34,746,920

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,069,728	7,164,171
短期借入金	5,246,947	5,390,313
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
リース債務	24,092	26,010
未払法人税等	425,343	88,298
賞与引当金	261,696	350,669
製品保証引当金	215,322	188,198
未払費用	400,597	336,268
前受金	118,813	189,786
その他	306,113	354,642
流動負債合計	14,368,655	14,388,360
固定負債		
社債	700,000	700,000
長期借入金	4,856,093	4,766,030
長期未払金	61,853	32,983
リース債務	47,761	43,997
繰延税金負債	71,431	109,938
役員退職慰労引当金	63,853	76,629
退職給付に係る負債	1,015,493	1,059,917
資産除去債務	48,718	67,164
その他	28,442	28,442
固定負債合計	6,893,648	6,885,102
負債合計	21,262,303	21,273,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756,680	2,756,680
資本剰余金	3,582,276	3,582,276
利益剰余金	7,685,048	7,859,037
自己株式	△638,014	△638,014
株主資本合計	13,385,991	13,559,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,356	34,969
為替換算調整勘定	△163,669	△376,478
退職給付に係る調整累計額	△9,408	△9,137
その他の包括利益累計額合計	△145,720	△350,646
新株予約権	31,042	38,376
非支配株主持分	226,983	225,747
純資産合計	13,498,296	13,473,458
負債純資産合計	34,760,600	34,746,920



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	11,102,918	17,264,769
売上原価	8,843,985	14,455,509
売上総利益	2,258,933	2,809,260
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	698,712	752,867
賞与引当金繰入額	110,151	102,387
福利厚生費	30,932	29,300
賃借料	61,309	66,432
業務委託費	43,010	51,158
研究開発費	120,834	209,988
減価償却費	113,266	114,658
その他	619,110	898,102
販売費及び一般管理費合計	1,797,328	2,224,894
営業利益	461,604	584,365
営業外収益		
受取利息	9,259	8,375
受取配当金	3,554	5,948
投資有価証券評価益	16,897	—
為替差益	2,847	—
受取賃貸料	6,092	7,042
その他	4,123	10,004
営業外収益合計	42,774	31,371
営業外費用		
支払利息	20,018	33,732
為替差損	—	232,135
ファクタリング料	—	4,311
持分法による投資損失	18,144	—
その他	3,311	7,210
営業外費用合計	41,473	277,388
経常利益	462,905	338,348
特別利益		
固定資産売却益	162	4,493
負ののれん発生益	—	20,829
その他	—	3
特別利益合計	162	25,326
特別損失		
固定資産除売却損	1,671	4,630
その他	—	6
特別損失合計	1,671	4,637
税金等調整前四半期純利益	461,396	359,036
法人税、住民税及び事業税	321,467	165,309
法人税等調整額	△147,700	△81,815
法人税等合計	173,767	83,493
四半期純利益	287,629	275,543
非支配株主に帰属する四半期純利益	50,981	12,267
親会社株主に帰属する四半期純利益	236,648	263,276

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	287,629	275,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,853	7,650
為替換算調整勘定	△24,535	△212,809
退職給付に係る調整額	101	270
その他の包括利益合計	△39,287	△204,887
四半期包括利益	248,342	70,655
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	197,435	58,350
非支配株主に係る四半期包括利益	50,907	12,304

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ディスプレイ 関連事業	メカトロニクス 関連事業	クリーニング その他関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	7,189,170	3,234,556	679,191	11,102,918	—	11,102,918
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,189,170	3,234,556	679,191	11,102,918	—	11,102,918
セグメント利益	444,217	258,434	30,565	733,217	△271,613	461,604

(注) 1. セグメント利益の調整額△271,613千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、日本ガーター株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「メカトロニクス関連事業」のセグメント資産が4,588,713千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間の「メカトロニクス関連事業」セグメントにおいて、日本ガーター株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、のれんが発生しております。当第2四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は837,623千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ディスプレイ 関連事業	メカトロニクス 関連事業	クリーニング その他関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	10,407,317	6,120,976	736,475	17,264,769	—	17,264,769
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,407,317	6,120,976	736,475	17,264,769	—	17,264,769
セグメント利益	532,284	359,531	109,960	1,001,775	△417,410	584,365

(注) 1. セグメント利益の調整額△417,410千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、ミュキエレクトクス株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「メカトロニクス関連事業」のセグメント資産が2,167,604千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第2四半期連結会計期間において、ミュキエレクトクス株式会社の株式取得により「メカトロニクス関連事業」セグメントにおいて20,829千円の負ののれんの発生益を計上しております。